

郵便はがき



〒四二六〇〇二五
 藤枝市藤枝四一七
 大慶寺 大場正昭

FaxTel
 ○五四一六四一一二二九
 ○五四一六四一六二二六

ohba@ennyozan.org

**まといまつり
参加者募集**



概 要	
■期 日	11月3日(木・祝)
■時 間	17:00～21:00
■内 容	まとい・太鼓など
■参加資格	3歳以上どなたでも <small>※レンタル衣装あり</small>
■費 用	子供 無料 / 大人 1,000円 <small>(通信後は無料)</small>

※定員に達し次第申込みを締め切らせていただきます

お会式 万灯まとい行列参加者募集
 11月3日のお会式が近づいて来ま
 した。
 今年も「まとい行列参加者」を募集して
 います。お申し込みは大慶寺まで。
お会式準備をお手伝い下さい
 本堂飾り付け、境内テント張り、福引
 き会場設営等の作業です。
 ○期日 10月29日(日)
 ○時間 9時～昼まで
 ※昼食用意、昼食後解散

大塚荷溪（かけい）を再認識

江戸時代の「大塚荷溪」という人をご存じか？藤枝宿の造り酒屋の豪商で全国に名を轟かせた文化人である。

7月上旬に岡山県立美術館長の守安氏が来寺した。「浦上玉堂」を生涯のテーマとして研究を続けているそうで、玉堂が大塚荷溪を訪ねてきた証拠の資料を見せて欲しいとの依頼。玉堂は備前（岡山県の出身）で、若くして脱藩後、全国を回りながら、数々の画を残している。7月盆直前でもあるが、遠路からの訪問、準備しない訳にはいかない。しかし「探すのに時間がかかりそう」と咄嗟に考えた。

実は、先代が逝去後、大慶寺に伝わる各種資料を整理しようとして試

みたが、思った以上に量が多いため、一箇所には納まらず分散して保管しているのだ。

そのため、細かい資料を探すのは、あちこちひっくり返さなければならぬ。やつとのものでそれらしき物を発見。いよいよ来寺。

館長と玉堂を専門的に調べる山吹学芸員の2



人。山吹さんは玉堂の末裔だという。

大塚荷溪の日記帳に玉堂が大塚家に泊まった記録があった。玉堂が荷溪に宛てた手紙を見せたが、どうやら探していた物とは違うようで、こちらから改めて探

してみると約束。7月盆終了後じっくり探しはじめると、きつとこれだと思ふ物がでてきた。早速、写真を館長に送った。後日手紙を頂き、裏付けができたと喜んでる様子。

聞けば、大塚荷溪は、当時多くの文化人を育てた人であるような。改めて大塚荷溪の偉大さを再認識。上の写真は本堂右側の位牌。田中城十代城主と並んで大塚荷溪の位牌を安置している。

今回の件で、寺の宝物は1箇所には保管すべきとつくづく感じた。幸い、今回の記念事業では、庫裡の一部に広くはないが宝物庫を設け、一括管理することができそう。今後は、時間を掛けて整理し、後世に伝えていきたいと思う。